

## 目標達成計画

作成日: 令和 2 年 12月 28 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	利用者家族の中には、特養等への入所は希望せず、ずっとグループホームでお願いしたいと、考えている方もいるので、看取りの可能性について家族との話合いや職員研修が必要であり、医療連携体制をどのように整えていくか検討が必要である。	看取り、ターミナルケアについて職員全員で情報を共有して検討していく。	①看取り、ターミナルケアに関して必要な知識を勉強会や外部研修等で学ぶ。 ②家族と話し合い今後について確実に確認する。 ③医療連携体制を構築していく為の知識を学ぶ。	12ヶ月
2	35	消防避難訓練に近隣住民の協力を得られるよう働きかける必要がある。 風水害対策計画のマニュアルは作成してあるが、地震・水害の避難訓練検討が必要である。	消防訓練に運営推進委員だけでなく、近隣住民に参加して頂けるような関係を築いていく。地震・水害を想定した避難訓練を実施する。	運営推進会議で実施日を告知して参加して頂けるよう呼びかけ、自治会長を通して近隣住民に消防訓練への参加を働きかける。 災害時の対応について全ての職員が、避難計画に沿ってスムーズに誘導出来るよう勉強会や訓練を実施する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。